

線香に木犀の香の仄かなる

基地の跡なりしコスモス今盛り

残照のほとぼる街に上がる月

勝利

秋野菜美しく添え女シェフ

真理子

秋潮に長き棧橋軋み鳴く

誓文や銀座通りはアーケード

駅員の交わす挨拶秋の暮

ウォーキング一団の過ぎ秋桜

小さな手にしっかり握る木の実かな

節子

からくりの唐子くるりと秋祭

由紀子

店先で夷布売る手芸店

高山の秋や屋台の曳き揃ふ

耳遠くなれど手は利き夷布

宿坊の他に灯の無く身に入みぬ

光子

しばし陽にぬくもる北の刈田かな